

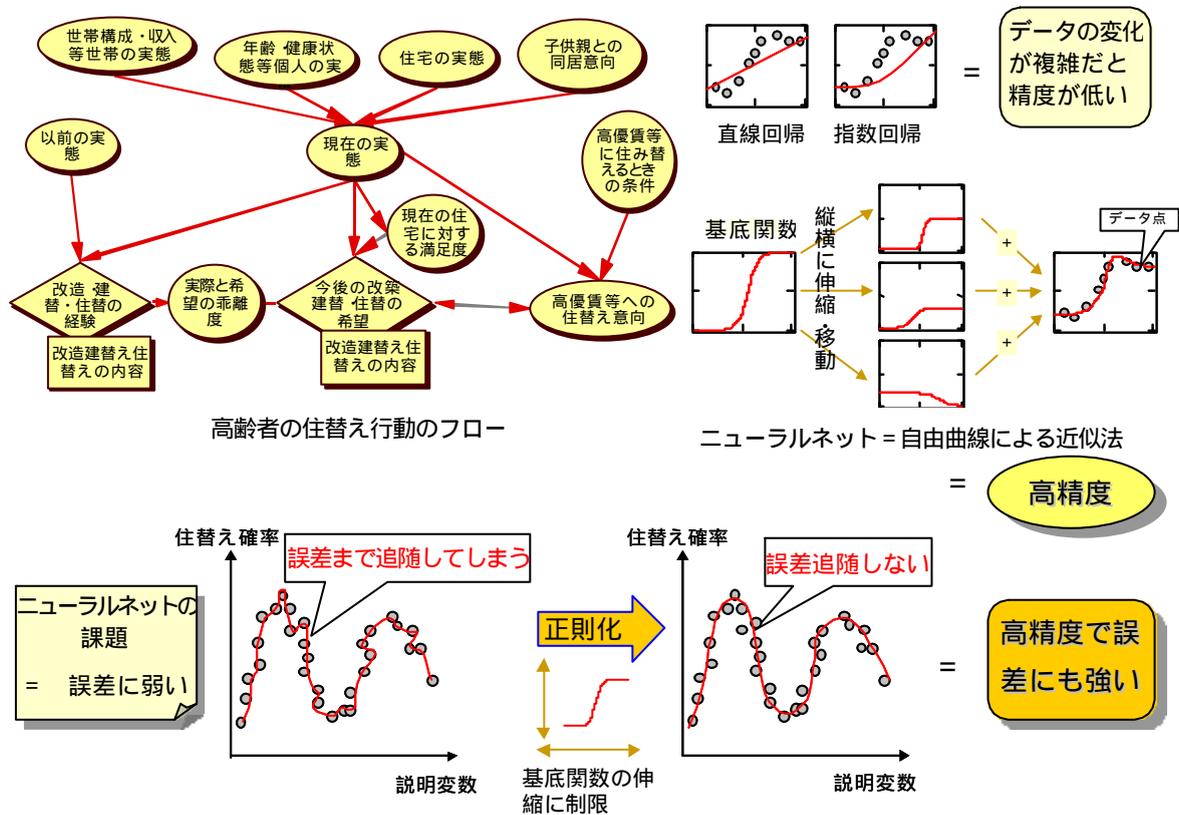
高齢世帯の住替え行動に関する研究

担当部科

都市生活科・住生活科

研究の目的 少子高齢社会の進行により、高齢世帯のニーズに合った住宅の整備と高齢世帯の住宅ストックの活用が求められています。本研究では、これらの問題解決のため、高齢世帯の住替え行動の要因把握と居住者の属性等から住替え行動を再現するモデル構築を目的とします。

研究の方法 下図のような高齢者の住替え行動フローを想定し、モデルの構築方法としては階層型ニューラルネットを用いています。階層型ニューラルネットとは自由曲線でデータを近似するもので、精度の高いモデル構築ができます。本年度は階層型ニューラルネットの課題である誤差追従防止方法に関する文献調査と、旭川市を対象としたアンケート調査の配布回収を行いました。



今後の取り組み 来年度は誤差追従を防止した階層型ニューラルネットをプログラム化し、旭川市における高齢世帯の改築・住替え・建替えのモデルを構築します。さらに他のいくつかの都市においても同様のアンケートを実施し、より適用範囲を広げたモデルを構築する予定です。

